

日本ダイカスト協会  
会 員 各 位

一般社団法人日本ダイカスト協会  
研究開発委員会委員長 青山俊三  
技術部 金内良夫

TEL03-3434-1885、FAX 03-3434-8829

## 第 70 回ダイカスト技術交流会のご案内（会員限定）

### — カーボンニュートラルを見据えたダイカスト技術・2024 年度浦上賞受賞講演 —

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、第 70 回ダイカスト技術交流会を下記の要領で開催致します。ダイカスト技術交流会は、会員相互による新しい技術・設備に関する情報や研究開発・現場改善の事例発表等を通じて会員相互の討議や皆さんの場を提供するとともに、技術者間の親睦を図ることを目的としております。

今回は、カーボンニュートラルを見据えたダイカスト技術と、2023 年度浦上賞受賞講演を企画いたしました。是非ご参加のうえ、活発な議論をお願いいたします。講演終了後、場所を変えて意見交換会を実施致しますので、こちらへもご参加をお願い申し上げます。

敬具

記

日時：2025 年 2 月 18 日（火）13:00～19:00（講演会 13:00～16:45、意見交換会 17:00～19:00）

場所：講演会（**対面開催のみ**）：ウインクあいち 1103

意見交換会：四川菜園

申込締切：2025 年 2 月 5 日（水）

定員：70 名

参加費：講演会のみ参加 : 5,500 円（税込み）

講演会+意見交換会：9,900 円（税込み）（講演会 5,500 円+意見交換会 4,400 円税込み）

申込方法：2 月 5 日までに下記 URL リンクまたは QR コードにてお申し込み願います。

お申込確認後、ご記入いただいたメールアドレスへ請求書（PDF）をお送りいたしますので、記載の振込先へ参加費を納入下さい。郵送をご希望の方はその旨 Forms へご入力ください。

URL リンク：<https://forms.office.com/r/kk57jsFkGK>



#### 【ご注意】

- ・ 準備の都合上、申込み後の変更も協会宛お知らせ下さい。
- ・ 定員を越えた場合、締切日以前でも締め切りといたします。
- ・ 締切日を過ぎた以降の取消しについては、上記会費を返金しませんのでご了承下さい。
- ・ 締切日以前にご入金後、キャンセルの場合は返金の際振込手数料をご負担いただきます。
- ・ 参加申込みに対して受付票の発行はいたしませんので御了承下さい。
- ・ テキストは当日現地にて配布いたします。

# プログラム

1. 開会の挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5分(13:00-13:05)  
研究開発委員会委員長 青山 俊三

## 2. カーボンニュートラルを見据えたダイカスト技術

- 2.1 持続可能な社会実現に向けたモノづくりへの取り組み 13:05~14:00  
トヨタ自動車株式会社 古川 勇 氏

地球温暖化、資源枯渇リスクなどの社会環境の変化を受け、モノづくりにもカーボンニュートラルや資源循環達成の達成が急務である。素形材分野、生産工場のトヨタにおける省エネ・CN・CEの取り組みを紹介するとともに、サプライチェーン全体での取り組みの必要性を訴求し、活動の仲間づくり、人づくりについてご紹介する

- 2.2 環境に配慮したダイカスト技術 14:00~14:50  
芝浦機械株式会社 藤巻 大助 氏

近年、ダイカスト業界は製造過程を含む環境負荷低減の取り組みや価格競争力がより一層求められている。その中で、サイクルタイムの短縮は、消費電力量の削減や生産の高効率化が期待出来るため、今後ますます重要となる。例として、ダイカストマシンの駆動部の一部を電動方式とすることでハイサイクル化が可能となる。それに伴う環境負荷低減技術を取入れた製法と従来製法による品質比較を行い、その有効性を調査したので報告する。

休 憩 (14:50~15:05) 15分

- 2.3 (株)プログレスのカーボンフットプリントへの取り組み 15:05~15:55  
株式会社プログレス 西村 央 氏

2020年政府による「2050年カーボンニュートラル宣言」や、同11月のCOP26の議論等を受け、社内で脱炭素経営の取り組みを検討開始する。2022年8月には、CO<sub>2</sub>排出量算定ツール boostGX を導入し算定開始し、削減目標・計画を策定した。具体的には、2021年を基準年として、年4.2%の二酸化炭素排出量の削減目標を策定、現在は目標達成に向け各種施策を実行しているところで、NGOや国からもISO14067やカーボンフットプリントガイドライン(経済産業省 環境省)が発表されたことを受け、CFP算定の取り組みを検討開始した。本報告では、これまでのCFIに対する取り組みをご紹介します。

## 3. 2023年度 浦上賞 受賞記念講演

- 3.1 高強度部品クラッチドラムのアルミ化 15:55~16:45  
アイシン軽金属株式会社 高安 敦 氏

環境新規制に対応する次世代の自動車オートマチックトランスミッションで軽量化が求められていた。従来は鉄2部品を溶接して構成していたクラッチドラムに対し、ダイカスト工法によるアルミ化開発を開始。材料開発と鋳造工法開発を行い、アルミ化開発を完了。40%の軽量化を達成し、従来の鉄部品と同様に溶接接合も可能とした。同時にCO<sub>2</sub>排出量低減を図った鋳造ラインも導入し量産した事例について報告する。

- 4.閉会の挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5分(16:45-16:50)

意見交換会 (17:10-19:00)  
(四川菜園)



## 交通

JR: ウインクあいち

愛知県名古屋市中村区名駅 4 丁目 4-38

◎JR 名古屋駅桜通口からミッドランドスクエア方面 徒歩 5 分

四川菜園 名駅店

名古屋市中村区 名駅 3-15-8 名駅グルメプラザ 6F

TEL : 050-5592-9979